



核も原発もないアジアを

■講師：佐藤大介さん（ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン事務局長）
「日本の原発輸出とアジアの反原発運動」

特別報告：日印原子力協定反対を闘ったインド反原発運動との交流報告

■日時：3月19日(水) 18:30~21:00

■場所：エルおおさか 604（大阪市中央区、京阪・地下鉄天満橋駅西へ徒歩5分）

■参加費：500円

福島原発事故から4年が過ぎようとする今も事故は収束されず、放射能汚染水は流れ出続けています。しかし、安倍政権は、「成長戦略」のもとで「インフラシステム輸出」として世界各国への原発輸出を進めています。こうした原発輸出では、私たちの税金などが原発建設のための融資や保険として使われます。そして、日本のメーカーも含めた原子力産業が儲かり、輸入国は事故の危険、核廃棄物、借金が押し付けられるのです。しかし、世界の反原発運動は反撃しています。インドでは、1月26日の共和国建国記念式典への安倍首相出席を機に、日印原子力協定締結を目論んだ両政府の思惑を全国的な「安倍首相訪印歓迎・原子力協定反対」運動が打ち砕き、締結を阻止しました。日本では、原発メーカーのフクシマ事故責任を問う訴訟が開始されました。佐藤大介さんは、アジア各国の反原発運動の現状に詳しく、この度の「メーカー訴訟」にも関わっておられます。粘り強く反原発運動を続けているアジアの人々の思いを知るために是非ご参加ください。インドの運動家との交流報告も予定しています。

【講師紹介】佐藤大介さん

ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン事務局長。“核も原発もないアジア”をめざす国際的ネットワーク活動「ノーニュークス・アジアフォーラム」「ノーニュークス・アジアフォーラム」（各国で持ち回り開催）の日本事務局を1993年より担う。アジア各国の反原発運動の動きなどを掲載する「通信」を年6回発行。



フィリピン、バタアン、2009年6月

主催：コトパンジャン・ダム被害者住民を支援する会、協力：ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン
連絡先：三ツ林 携帯 090-8382-9487、Email: YFA64193@nifty.com、佐藤 携帯 080-6174-8358